

プロジェクト課題No.3

新規就農した和牛繁殖農家の飼養管理技術向上及び経営の安定

令和3年2月4日

大崎農業改良普及センター



計画期間：平成31年度～令和2年度（2箇年）

対象名：繁殖経営を開始した認定新規就農者

対象者数：3人（大崎市岩出山、大崎市鳴子
温泉，色麻町）

担当一員：千葉正典、大友一博、佐藤敏昭
村主栄一

課題の背景

- 黒毛和種の子牛生産頭数の減少による取引価格の高騰。
- 和牛繁殖経営を継承・開始する新規就農者が増加

繁殖牛経営の特徴

- 多額の初期投資が必要であり、繁殖基牛導入から、子牛生産販売まで2年程度を必要。
- 子牛の売り上げが安定して得られるようになるには、数年の経験が必要。

設定した目標

意図する対象の変化（定性的目標）

- ・ 飼養管理技術及び経営管理能力が向上し、経営が安定するとともに経営規模が拡大。

定量的数値目標

- ・ 子牛市場平均価格を年間を通じて上回る
就農者数

2人 (H30) → 2人 (R1) → 3人 (R2)

実績 1人 (R1) → 〇人 (R2)

繁殖台帳の整備と活用

生産計画の基となる繁殖台帳整備活用

- 分娩間隔の短縮に向けて活用
- 長期不受胎牛の早期受胎や更新の指導
- 今年度出荷予定の確認



- 計画的な繁殖牛の更新の実施 1戸
- 計画的な繁殖牛の導入の実施



台帳の整備支援の様子

出荷子牛調査と結果の活用

- ・子牛の発育調査等を実施、分析して飼養管理の見直・改善により、資質の高い子牛を育成、販売を支援。

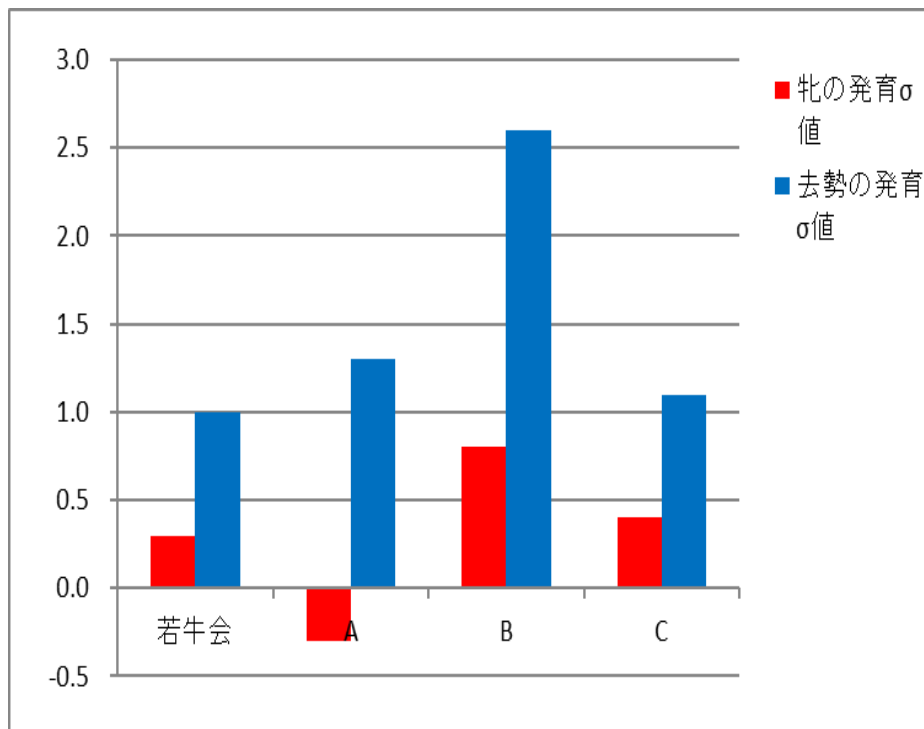
調査項目

- ・生年月日，血統情報
- ・体尺測定，体型調査
- ・取引成績など

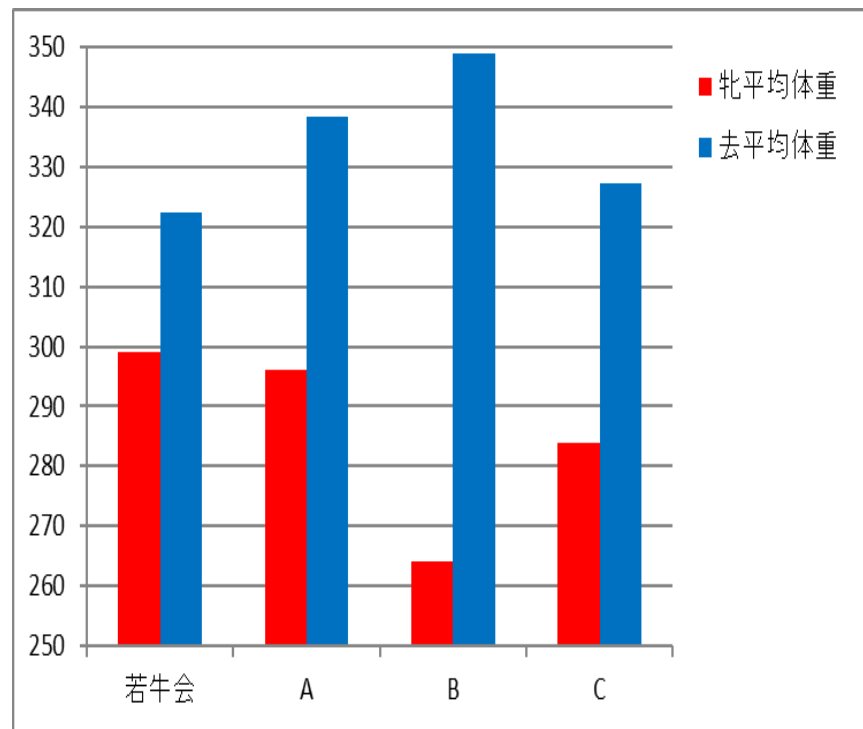


家畜市場での体尺測定の様子

	牝牛			去勢牛		
	体高σ値	平均体重 (kg)	販売額 (税込千円)	体高σ値	平均体重 (kg)	販売額 (税込千円)
W会	0.3	299	632	1.0	322	694
A	-0.3	296	606	1.3	338	736
B	0.8	264	618	2.6	349	724
C	0.4	284	646	1.1	327	687



体高による発育の比較



平均体重の比較

飼養管理改善支援

- ・出荷子牛調査結果及び個別巡回により子牛育成マニュアルを参考に適正な育成管理ができるよう支援
- ・飼養環境の確認と改善に向けた支援



飼養環境調査の様子



子牛の発育改善に向けた育成施設の整備

子牛市場平均価格との比較

	出荷頭数	販売額 (千円)	平均価格 (円)	備 考
A	5	3,549	709,808	
B	5	3,407	681,340	
C	15	10,013	667,553	
市場	4,292		709,394	出荷日のみ集計

経営規模の拡大

対象	平成31年4月 (開始時頭数)	令和3年1月 (現在頭数)	増加率 (%)	備 考
A	8 (3)	10 (2)	125	
B	9 (1)	20 (4)	222	制度資金活用
C	17 (5)	23 (5)	135	

()は育成牛